

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力

シャフリトゥーズ行政郡オブショロム地区ヴァタン村第29学校校舎改修及び新設計画供与式報告

平成30年2月21日、「シャフリトゥーズ行政郡オブショロム地区ヴァタン村第29学校校舎改修及び新設計画」の供与式がシャフリトゥーズ行政郡で行われました。供与式にはシャフリトゥーズ行政郡長や学校関係者、児童・生徒及び保護者を含む大勢の地域住民が参席しました。

本計画対象のヴァタン村第29学校は村唯一の基礎教育機関で、7歳から18歳までの児童・生徒約470名が通っています。ヴァタン村には2010年まで学校がなく、地元住民によって現在の校舎が建てられました。しかし、床には凸凹が散見され、壁には亀裂が、雨天には雨漏りが発生する、電気が通っていないなど、校舎は適切な基礎に欠けた状態でした。また職員室がなかったため、教師は書類の保管ができず、授業の効率化を図ることも難しい状況でした。

今般、本計画実施により、旧校舎の改修及びトイレや食堂などを含む別棟の新設が行われ、児童・生徒たちはより良い環境で十分な教育を受けることができるようになりました。供与式では同学校に通う児童・生徒より、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



テープカットの様子。



改修された校舎の概観。



スピーチをする中垣参事官。



生徒代表より、感謝の言葉が述べられました。